

学会教育施設の図書室規定 —アンケートを実施して—

田 中 文 子

1. はじめに

病院の非生産部門である図書室は「金食い虫の厄介もの」と見なされることが多い。担当者がもっと充実させたいと訴えても利用の少なさを指摘される。しかし、なぜ利用が少ないかと言えば資料が貧弱なためで、つまるところ水掛け論に終始してしまいがちである。「総合病院には図書室が必要である」という医療法上の簡単な規定はあっても、本来必要とされる図書室の実質的な中身や業務内容は個々の病院に任されており、改善の指針となりにくいのが現状である。病院図書室を少しでも充実させるために何らかの規制がないだろうかとかねがね考えていたが、そんな折、平成8年に日本医療評価機構が設立され、病院の評価が全国的に開始された。病院図書室も評価項目に挙げられており、具体的に相互貸借が可能かどうかなどの踏み込んだ内容も盛り込まれている。評価内容のさらなる充実を期待したい。

一方、医学各分野の学会でも教育施設の認定を行っているが、図書室の規定に関しては各施設への調査項目には入っているものの今までほとんど知られていない。そこで、今回各学会に対して病院図書室および図書室専門職員の必要性を訴えることも目的にしてアンケート調査を行ったので報告する。

2. アンケートの実施

アンケート調査は下記のとおり実施した。

(1) 調査対象

まず、アンケートの対象学会を決めるために、臨床研修研究会編の「臨床研修病院ガイドブック」を調べ、学会認定医制協議会という組織があることを知った。これは、「認定医制が社会から信頼と評価を得、医療の中で位置づけられるために活動するもので、各認定医制を規制するものではない。会員は、本協議会の場で話し合えたり、申合せされた事項などにより、信頼される認定医制を育成、発展のために努力すべきである」との趣旨で、昭和56年11月11日に発足した協議会である。その協議会の平成8年3月20日時点での会員46学会(表1)を対象にアンケートを実施することにした。なお、表1の学会記載順は学会認定医制協議会概報(平成8年3月)の記載順である。また、各学会事務局の住所は学会雑誌が発行されていると考え、医学中央雑誌収載誌目録によって調べた。

(2) アンケートの依頼と項目

アンケート依頼文書およびアンケートの項目は表2、3の通りである。各学会にはこれらの他に近畿病院図書室協議会会員名簿を参考資料として添えて送付した。依頼文書は当協議会会長名で作成し、当協議会の主旨、活動内容について簡単に説明し、更に各学会の教育施設認定の基準条件が記載されたものがあればアンケートの回答に同封していただい

たなか ふみこ：済生会兵庫県病院

るよう依頼した。

アンケートの内容は表3の項目のとおりで、設問1から11まではYes、Noの単純回答とした。少しでも多くの回答が欲しかったため答えやすいように工夫したつもりである。また、設問8から11に関しては特にYesへの回答を誘導するような質問の仕方をしている。設問12、13については、一言でも書いていただければという期待を持って付け足したものである。

3. アンケートの結果

調査結果は表4の通りである。督促した学会も含めて回答のあった学会は43学会、回収率は93.5%であった。締切までに回答のなかった11学会の中には事務局変更のため依頼が届かなかった、規定がないため回答できなかったなどがあり、アンケートそのものに理解を示していただけなかった学会もあった。また、教育施設認定の規定を送付してきた学会は16学会にとどまった。この中には図書室に関する規定がない学会も含まれているが、規定がある学会でもそのほとんどが図書室完備、整備とのみ記述されているに過ぎない。設問1から11についてはYesをY、NoをNとし、設問3はYA、YB、YCと表示した。回答のなかった場合は空白、規定内容欄の*印はコメントとして付記されていたものである。

このうち、設問1にYes回答をした39施設についてその回答をまとめたものが表5である。この表で見る限り、図書室の蔵書数、学

会関連の蔵書数に関する規定がある学会は少ないようで、文献検索や入手手段など機能、ソフト面が重視されているようである。また、設問11にYesと回答した学会は当然のことながらそのほとんどが設問3では担当者の配置が必要と考えている。設問8から11までは予想通りYesの回答が多かったが、施設・設備や蔵書だけではなく人的なサービス、人材の必要性を認めたものと解釈したい。

4. おわりに

アンケート調査を実施した時点では学会教育施設の認定規定に図書室の具体的な内容は明示されていなかった。しかし、学会では充実した教育施設には図書室の機能が必須であると考えていることも事実のようである。病院図書室ではその規模が大きくても大学の図書館と比較すると、設備や蔵書などすべてに劣ることはいうまでもない。その中で利用者に不自由なく情報を提供を行うためには必要な知識や技術を持つ専門職員が必須である。診療録の管理に関しては、教育施設申請用紙に「専任担当者が配置されているか、またその担当者は診療録管理士（診療情報管理士）か」と設問している学会もあることから、図書室にもそのような人的規定がもうけられることを今後期待したい。

最後にこのアンケートにご協力くださった各学会関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

日本病理学会	東京都文京区本郷2-40-9 ニュー赤門ビル4F
日本温泉気候物理医学会	東京都中央区八重洲1-5-20 石塚八重洲ビル 日本健康開発財団内
日本内科学会	東京都文京区本郷3-34-3 本郷第一ビル8F
日本小児科学会	東京都文京区後楽1-1-5 第一馬上ビル4F
日本消化器病学会	東京都中央区銀座8-9-13 銀座オリエントビル8F
日本循環器学会	京都市左京区吉田河原町14 近畿地方発明センター内
日本外科学会	東京都文京区後楽2-3-10 白王ビル7F
日本整形外科学会	東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル
日本産科産婦人科学会	東京都新宿区市ケ谷砂土原町1-1 保健会館別館内
日本眼科学会	東京都千代田区猿蓑町2-4-11-402
日本耳鼻咽喉科学会	東京都港区高輪3-23-14-807 シャトー高輪内
日本皮膚科学会	東京都文京区本郷3-14-10 養生ビル4F
日本医学放射線学会	熊本市本荘1-1-1 熊本大学医学部放射線医学教室
日本麻酔学会	東京都文京区本郷3-18-11 TYビル6F
日本胸部外科学会	東京都文京区後楽2-3-10 白王ビル7F
日本脳神経外科学会	東京都文京区本郷5-27-8 赤門前岩田ビル
日本神経学会	東京都文京区湯島2-31-21 一九ビル2F
日本リハビリテーション医学会	東京都板橋区小茂根1-1-17
日本形成外科学会	東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21
日本小児外科学会	東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21
日本消化器外科学会	東京都千代田区九段南2-2-4 新九段ビル9F
日本臨床病理学会	東京都文京区本郷2-11-10 ウエルストーンハイツ203
日本胸部疾患学会	東京都文京区本郷4-1-11 YK本郷4F

日本心身医学会	福岡市東区馬出3-1-1 九州大学医学部診療内科内
日本救急医学会	吹田市山田丘2-2 大阪大学医学部附属病院 特殊救急部内
日本アレルギー学会	東京都文京区本郷1-35-26 石水ビル7F
日本リウマチ学会	東京都豊島区南大塚2-39-7 ヤマモト大塚ビル5F
日本消化器内視鏡学会	東京都千代田区神田小川町3-22 タイムイビル 2F
日本血液学会	京都市左京区吉田河原町14 近畿地方発明センター内
日本泌尿器科学会	東京都文京区本郷3-14-10 養生ビル
日本糖尿病学会	東京都文京区本郷3-38-11 本郷スカイビル403号
日本気管食道科学会	東京都文京区後楽2-3-10 白王ビル5F
日本内分泌学会	京都市左京区吉田河原町14 近畿地方発明センター内
日本老年医学会	東京都文京区湯島4-2-1 杏林ビル702
日本精神神経学会	東京都文京区本郷3-38-11 本郷スカイビル
日本肝臓学会	東京都文京区本郷3-28-10 柏屋2ビル5F
日本腎臓学会	東京都新宿区天神町1 天台ビル7F
日本大腸肛門病学会	東京都大田区大森西6-11-1 東邦大学医学部第一外科学教室内
日本輸血学会	東京都渋谷区広尾4-1-31 日本赤十字社中央血液センター内
日本超音波医学会	東京都文京区本郷3-23-1 クロセア本郷3F
日本核医学会	東京都文京区本駒込2-28-45 日本アイソトープ協会内
日本産業衛生学会	東京都新宿区新宿1-29-8 公衆衛生ビル
日本人類遺伝学会	長崎市坂本1-12-4 長崎大学医学部原研 遺伝学部門内
日本呼吸器外科学会	京都市上京区寺町広小路東桜町5 9 荒神口ビル1F D号
日本小児神経学会	東京都新宿区若松町6-13 達和堂ビル2F
日本東洋医学会	東京都中央区日本橋3-4-10 中村湯ビル内

表1 学会認定医制協議会会員46学会（平成8年3月現在）

平成9年11月 1日

学会認定医制度協議会
学会殿

近畿病院図書室協議会
会長 牧野 尚彦
(兵庫県立尼崎病院長)



学会教育施設の図書室の規定について (アンケートのお願い)

拝啓 貴学会におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども近畿病院図書室協議会は、病院図書室の充実、医療情報活動に貢献することを目的に昭和49年に設立され、現在近畿地区を中心に108機関が加入して医学文献相互貸借、図書室担当者の教育等の活動を行っております。

昨年、日本医療評価機構が設立され、病院の医療評価が全国的に開始されました。それによりますと病院図書室にも評価項目が設けられており、わずかながらでも図書室に対する認識が一步前進したかと喜んでおります。

ところで、当協議会会員病院の中には、専門医 (認定医) による各学会の教育病院の指定をうけて研修医を受け入れている病院が多くございます。よりよい研修施設にするため、貴学会教育施設の認定基準のうち図書室関連の規定がございましたらお教えいただきたく存じます。

つきましては、ご多忙中恐縮ではございますが、別紙アンケートにご記入の上、下記の要領でご返送下さいようお願い申し上げます。また、貴学会の教育施設指定の基準条件が記載されたものがございましたら、一部アンケート回答用紙と同封してお送り下さいますようお願いいたします。

記

1. 締 切：平成8年12月5日
2. 送付先：〒651-13
神戸市北区藤原台中町5-1-1
済生会兵庫県病院図書室 (担当者：田中 文子)
電話：078-987-2222 F A X：078-987-2221

表2 アンケート依頼文書

1. 貴学会では、教育研修施設の施設指定をされてますか?
Yes No
2. 施設指定条件に、図書室 (閲覧できる体制) が必要とされますか?
Yes No
3. 図書室には、担当者の配置が必要とお考えですか?
必要と思われる場合は、どのような担当者が望ましいとお考えですか?
Yes No
A. 専任有資格者 (司書)
B. 専任担当者
C. その他 ()
4. 図書室全体の蔵書数 (単行書) を指定条件とされますか?
Yes No
5. 学会関連分野の蔵書数 (単行書) を指定条件とされますか?
Yes No
6. 図書室全体の雑誌タイトル数を指定条件とされますか?
Yes No
7. 学会関連分野の雑誌タイトル数を指定条件とされますか?
Yes No
8. 文献検索ができる手段が必要とお考えですか?
Yes No
9. 研修に必要な文献入手手段が必要とお考えですか?
Yes No
10. 今後、研修施設にニューメディア (CD-ROM、オンライン検索、インターネット等) の整備が必要だとお考えですか?
Yes No
11. 研修医に対して、資料・情報に対する利用者教育が必要とお考えですか?
Yes No
12. 今後、図書室関連についての規定で改定、新たに規定を設ける等予定されていることがございましたらお書き下さい。
13. 受入施設の図書室 (担当者) に望まれることがございましたらお書き下さい。

表3 アンケート項目

学 会 名	資料	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	規 定 内 容
日本病理学会	有	Y													
日本温泉気候物理医学会		Y	Y	N	N	Y	N	N	Y	Y	N	N			
日本内科学会	有	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	現時点では、改訂予定なし	内科関連の内外の雑誌の充実希望	
日本小児科学会		Y	Y		N	N	N	Y							即答保留としたい
日本消化器病学会		Y	N						Y	Y	Y				
日本循環器学会		N	N		N	N	N	N	Y	Y	Y	N			
日本外科学会	有	Y	Y	YA	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y			
日本整形外科学会	有	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N			
日本産科産婦人科学会	有	Y	N	YB	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y			
日本眼科学会	有	Y	Y	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	予定なし		
日本耳鼻咽喉科学会		Y	Y	YA	N	N	N	N	N	Y	Y	Y			
日本皮膚科学会															
日本医学放射線学会		Y	Y	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y			4-7について総合判定の資料としている 熊本大学放射線医学教室 高橋Drより
日本麻酔学会		Y	N												
日本胸部外科学会	有	Y	Y												
日本脳神経外科学会		Y	N												
日本神経学会		N	N	YA	N	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	今後の課題とする	幹事個人的意見：日米の主要雑誌の購 入と文献検索・入手は大切	
日本リハビリテーション医学会															
日本形成外科学会		Y	N	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y			オンライン検索による文献提供などが 実現できれば。
日本小児外科学会															
日本消化器外科学会	有	Y	Y	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y			
日本臨床病理学会		Y	Y	N	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y			
日本胸部疾患学会		Y	Y	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	N			
日本心身医学会		Y	N	YA	N	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y			
日本救急医学会	有	N													
日本アレルギー学会		Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y			
日本リウマチ学会	有	Y	Y	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y			
日本消化器内視鏡学会	有	Y	N	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y			

日本血液学会		Y	N																	
日本泌尿器科学会	有	Y	Y	N	N	N	N	N	N	Y	N	Y		研修施設の条件全体の再検討を予定している						
日本糖尿病学会	有	Y	Y		Y	Y		Y												
日本気管食道科学会		N																		
日本内分泌学会																				
日本老年医学会																				
日本精神神経学会																				協議会には、参加しているが認定医制度はできていない。
日本肝臓学会		N	N*	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	規定はないが、自然的に設置されているもの						
日本腎臓学会		Y	N	YC	N	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	今後、図書館の設置は必要となると考える。						
日本大腸肛門病学会		Y	N	N	N				Y	Y	Y	Y								
日本輸血学会	有	Y	N	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y								
日本超音波医学会	有	Y	Y	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y									
日本核医学会		Y	N	N	N	N	N	N	N	N										
日本産業衛生学会		N	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y								
日本人類遺伝学会		Y	N	YA	N	N	N	N	N	N	N	Y								
日本呼吸器外科学会		Y	N	YB	N	N	N	N	Y	Y	Y	N								
日本小児神経学会		N	Y	YA	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y								認定委員長個人的意見として
日本東洋医学会																				学会が小さくて答えられない

表4 アンケート結果

アンケート	回答数	回答率	Yes 数	Yes 率	NO 数	No 率
1	39	100	32	82.05	7	17.95
2	36	92.31	19	52.78	17	47.22
3	28	71.79	21 YA3YB11YC	75	7	25
4	31	79.49	4	12.9	27	87.1
5	30	76.92	7	23.33	23	76.67
6	29	74.36	1	3.45	28	96.55
7	30	76.92	7	23.33	23	76.67
8	30	76.92	25	83.33	5	16.67
9	30	76.92	25	83.33	5	16.67
10	29	74.36	25	86.21	4	13.79
11	26	66.67	20	76.92	6	23.08

表5 各設問間の回答率